

瑞浪市立瑞浪南中学校
校長 中山 英三 様

令和1月7日に稲津公民館新春事業として小学生以下を対象に「みんなで楽しいお正月」を開催させていただきました。参加者小学生(未就学を含む)49名に対し、7名の中学生ボランティアが大活躍してくれました。令和6年度の目標であった「中学生と共に」が少しずつ結果が出ていることうれしくもありありがたく思います。

今後とも稲津公民館事業並びにまちづくり事業にご支援、ご協力をお願いします。
瑞浪南中学生の活動報告をさせていただきます。

稲津公民館長 正村

<ボランティア>

令和7年新春初の公民館行事「みんなで楽しいお正月」が多くの子ども達が参加してくれて笑顔に満ちた時間と空間を共有できました。ここでは昔からの遊びを体験してもらうこととしている。今年は百人一首による「かるた取り」と「坊主めぐり」を体験してもらいました。忘れ去られようとするお正月の遊びを体験することを目的としています。ここでは7人の中学生ボランティアが大活躍してくれました。イベントの進行から運営まで自信たっぷりに行動する彼らを安心してみることができました。

彼らは学校での強制ではなく自らの意志で参加してくれたこと切にうれしく思う。自ら考え、行動できる彼らへの言葉は「任せた！」その一言だけで充分です。これからも彼らが高校生・大学生・社会人へと成長した時に稲津町のイベントに積極的に参加してくれることを期待したい。

百人一首で遊んだ後はお楽しみの「ぜんざい」と「七草がゆ」を食べる。ここでは10人の大人ボランティアさんが朝から子供たちのために一生懸命作ってくれました。ただただ頭が下がる思いである。この紙面であらためてお礼申し上げます。

これからもボランティアに支えられて稲津町が発展することを願いたい。
※百人一首とは和歌からできている。この和歌をルーツとした12文字で詠う稲津の伝統文化「狂俳」へ引き継がれているのではと付け加えておきたい。

(M)

令和7年2月号月刊稲津びより (館長コラム)